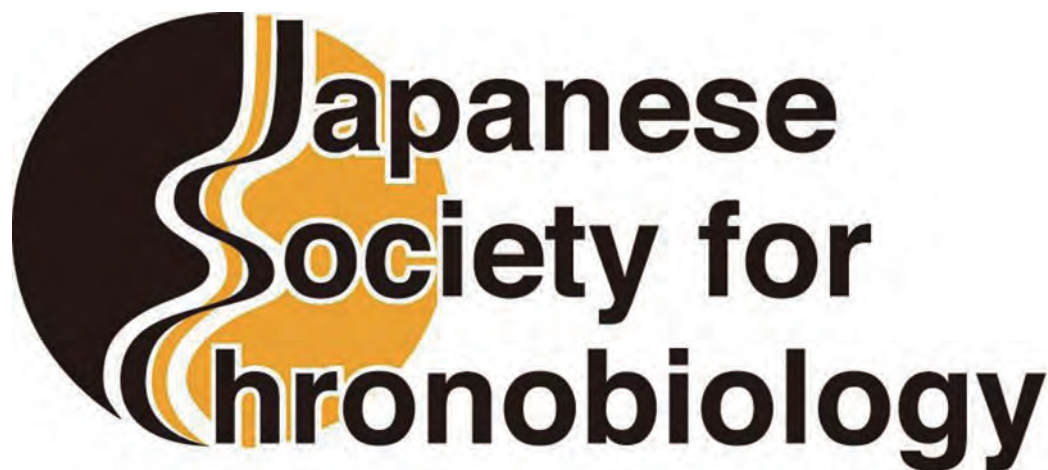


時間生物学会 公式ロゴの決定について

広報担当 糸 和彦

前号で公募のご案内をした学会の公式ロゴは、応募作品の中から理事会の審議で、東京大学大学院博士課程の広瀬健太郎さんの作品に決定しました。以下の日本時間生物学会の英文名がデザインされたものです。電子ファイルはホームページからダウンロードできますので、是非、ご活用下さい。



「作者の言葉」

東京大学 広瀬健太郎

日本時間生物学会のロゴマークとして、私のデザインを採用して頂く事となり、学会員として非常に光栄に思います。私は学部生時代に名古屋大学の石浦正寛先生のご指導のもと、シアノバクテリアのKaiタンパク質の研究に携わり、現在は東京大学の深田研究室にて哺乳類概日時計の分子機構について研究を進めております。ですので、私にとって時間生物学とは、モデル生物として原核生物からヒトまで、そして扱う時間の尺は数時間周期から年周期と、非常に多彩な生命現象を俯瞰する事ができる魅力的な学問です。ロゴマークのコンセプトを考えるにあたり、これらの幅広い研究テーマに対して普遍的なモチーフを採用すべきと考え、リズムを表す波形で“JSC”の文字をデザインすることを着想しました。概日時計に限らず、様々な生物リズム現象を研究されている皆様に愛着を持って頂けたら幸いです。デザインの作製にあたり、深田研メンバーの皆から各種ダメ出しを（JISマークに似てる等）頂きました。また完成型に至るまでに、糸和彦先生をはじめ時間生物学会理事の方々より様々なご意見を頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。